

九州地方で梅雨前線による豪雨が発生

竜門ダムでは今年度2回目となる洪水調節を実施

- ・上流から竜門ダムへ入ってくる水量の一部を貯める（洪水調節）ことで、最大流入時には、下流へ流れる水量（ダム通過量）を約3割減らしました。
- ・この結果、ダムが無かったと仮定した場合に比べ、ダム下流の隈府地点で最高水位を約0.13m低くすることができ、はん濫注意水位以下（水位危険度レベル2）まで抑えることができたものと推測しています。
- ・以上のように、竜門ダムの洪水調節で迫間川の水位を低下させることにより、洪水を安全に流下させる効果を発揮しました。

- 九州地方に接近した、梅雨前線の影響により、竜門ダム上流域では7月6日1時頃から雨が降り始めました。
- 竜門ダムでは、ダムに入ってくる水量（流入量）が毎秒100立方メートル（洪水調節開始流量）に達した7月6日17時02分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

	項目	数値	備考
ダム上流域	総雨量	250mm	7/6 1:00～7/6 21:00
	最大1時間雨量	30.7mm	7/6 17:00～18:00
竜門ダム	最大流入量	毎秒134立方メートル	7/6 18:45頃
	最大流入時放流量	毎秒99立方メートル	最大流入量の約74%
	最大流入時調節量	毎秒35立方メートル	
隈府※ 水位 観測所	観測最高水位	1.50m（量水標読み）	水位危険度レベル2
	ダムがなかった場合の 最高水位（推定）	1.63m（量水標読み）	水位危険度レベル3
	洪水調節による 水位低減量（推定）	0.13m	

※隈府水位観測所：河口から約48km上流、竜門ダムから約8km下流

※本資料は、竜門ダム管理支所ホームページ（以下のアドレス）に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/ryumon/>

※速報値のため各数値は変わる場合があります。

〔お問い合わせ先〕

国土交通省 菊池川河川事務所

TEL:0968-44-2171 大野工事品質管理官

竜門ダム管理支所

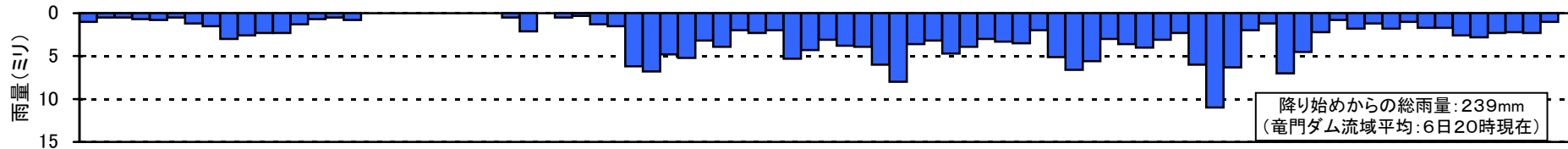
TEL:0968-27-1120 久保支所長

竜門ダムの洪水調節状況について(H23年7月6日 梅雨前線)

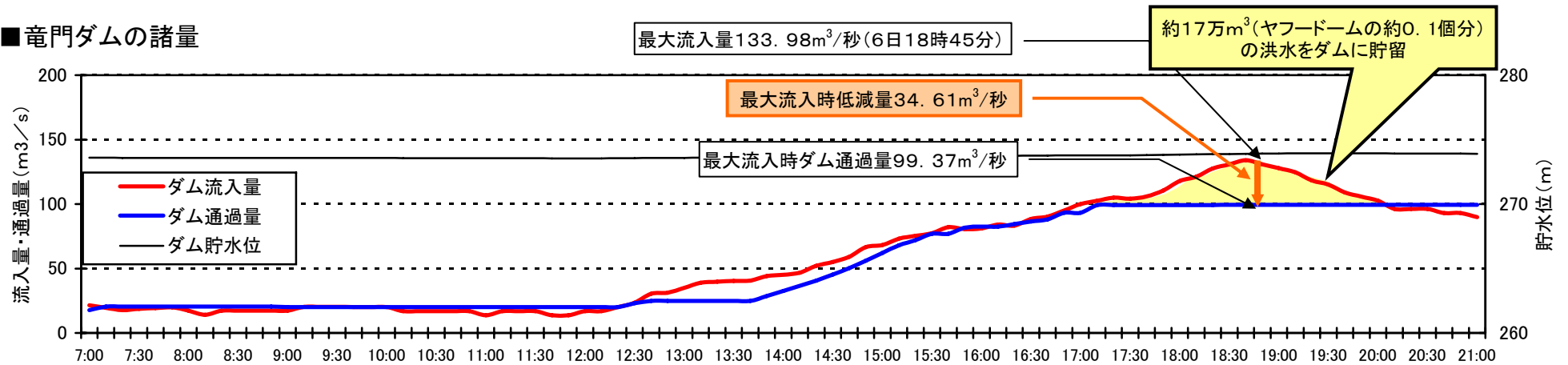
～最大流入時のダム通過量を約26%低減し、下流の水位を約0.13m低下～

■降雨量(ダム上流域平均)

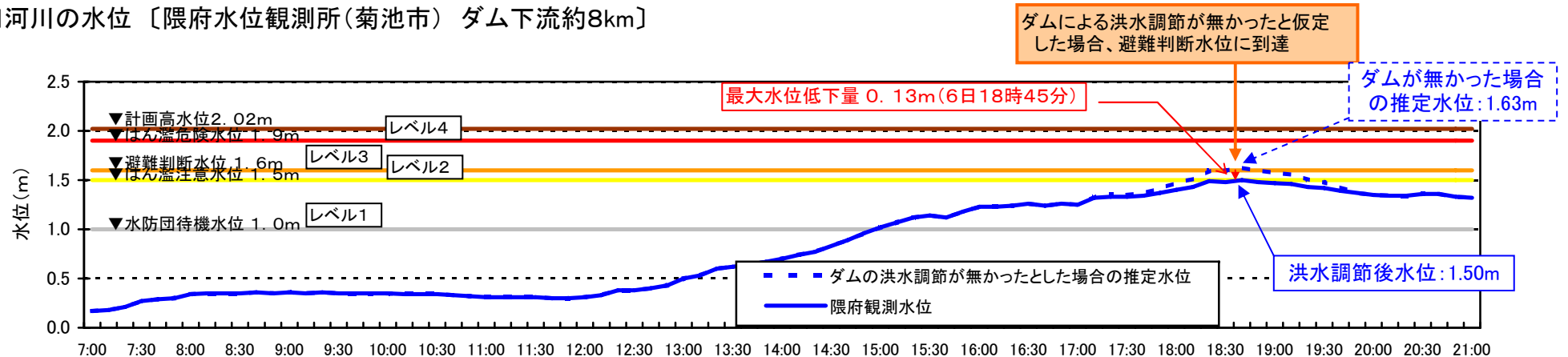
※速報値のため各数値は変わる場合があります



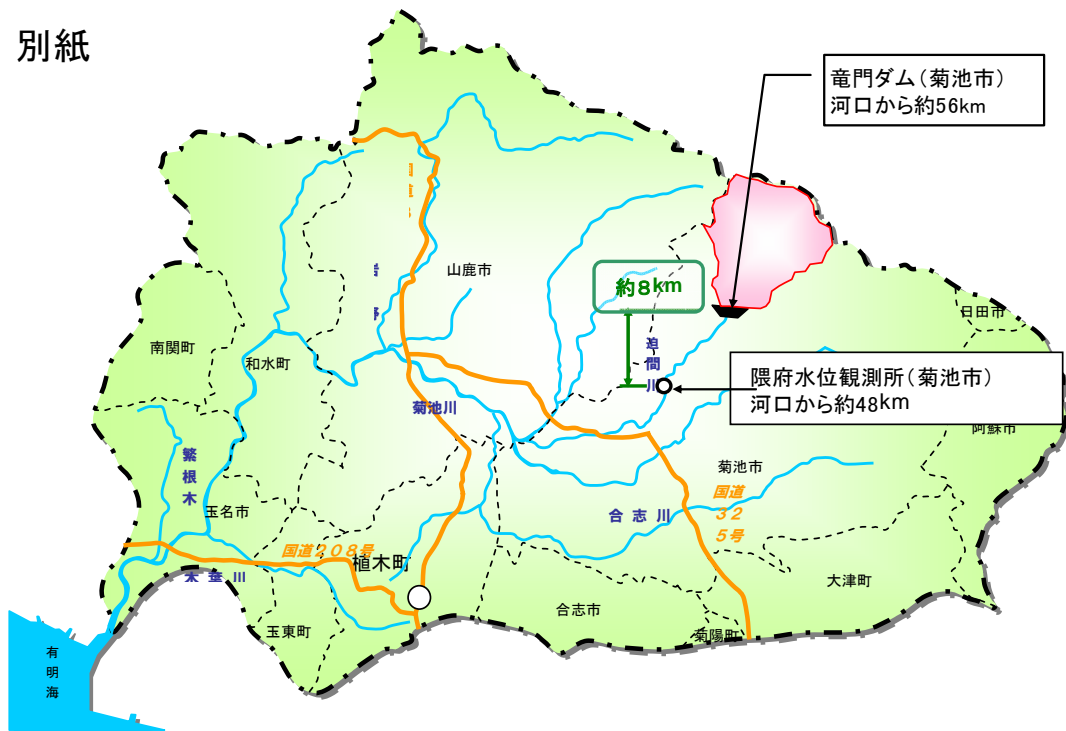
■竜門ダムの諸量



■河川の水位〔隈府水位観測所(菊池市) ダム下流約8km〕



別紙



《参考》

ダム

河川名	菊池川水系迫間川	
位置	熊本県菊池市龍門、班蛇口	
形式	複合ダム	
ダム諸元	重力式ダム	フィルダム
堤高	99.5m	31.4m
堤頂長	380m	240m
堤体積	844千m ³	230千m ³
堤頂標高	EL.284.5m	EL.286.4m
非越流部標高	EL.284.5m	EL.285.9m
堤頂幅	8.0m	10.0m
堤体法勾配		
上流面	鉛直 フレット 01:00.4	1:2.6
下流面	1:0.75	1:2.0

貯水池

集水面積	26.5km ²
湛水面積	1.3km ²
設計最高水位	EL.283.2m
洪水時最高水位	EL.281.0m
平常時最高貯水位	EL.274.5m
最低水位	EL.219.0m
総貯水容量	42,500,000m ³
有効貯水容量	41,500,000m ³
洪水調節容量	8,000,000m ³
利水容量	33,500,000m ³
河川環境の保全	11,500,000m ³
かんがい	19,300,000m ³
工業用水	2,700,000m ³
堆砂容量	1,000,000m ³

洪水吐き

常用洪水吐き	コンジット ゲート2門 自由越流堤
非常用洪水吐き	自由越流堤
計画高水流量	540m ³ /s
計画最大放流量	100m ³ /s

●ダムの洪水調節実績図

